

レイカ大津支部会報 かけはし

77号

2022(令和4)年6月発行

[発行] レイカディア大学同窓会大津支部

<https://lacadosokai.com>



目次

2 巻頭言：まち歩きの実践
本郷 芳紀（研修部会長）

3 令和4年度 支部長所信
支部長 藤田 順一

4 大津支部定期総会および
本部定期総会の報告

5 新入会員入会式の報告
新入会員アンケート結果

8 部会だより
健康部会・文化部会
研修部会・地域活動部会

13 小学校支援活動実績表および
まちなか支援活動実績表

14 知名度向上委員会だより

15 事務局からのお知らせ

18 長寿慶祝者へのインタビュー



新入会員入会式＜4月15日＞



「イキイキふれあい祭り(平和堂石山)」
＜6月10～13日＞

19 新入会員よりひとこと

24 地域だより

26 広報部取材：僕は10才若く見えます！ — 荒堀 勝正さん —

27 広報部会の活動紹介

28 会員動向・編集後記

まち歩きの実践

研修部会長 本郷 芳紀 (40期 地文・瀬田一里山)

新型コロナウイルスによりこの2年間、三密回避（密集・密閉・密接の回避）の原則のもと各種行事・イベントの自粛が行われた結果、「内向きの生活」が日常となった感があります。オミクロン株や更に派生する変異株への不安は払拭できませんが、ワクチン接種、治療薬開発が進むことにより「ウイズ コロナ」として以前の日常生活に徐々に戻って行くのではないかと考えています。

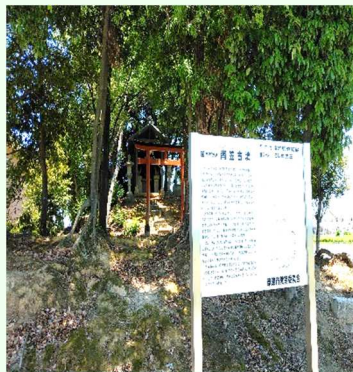
さて、レイカディア大学の地域文化学科に入学した動機は、「現住所」の住民の方々を含めて居住地のことについて「無知」、「未知」であり、現職時代は「余りにも何も知らないこと」でした。レイカディア大学で滋賀県の歴史、文学、民俗学的な諸々を専門家の先生から授業・校外学習で学び興味、関心が増し、少々大げさですが感動する時もありました。このような経験から卒業後も地元のこと、大津のこと、滋賀県のことへの好奇心は健在です。新型コロナ禍のこの2年間は大津市教育委員会主催の「おおつ学」実践講座に参加する体験もしました。この講座最終ゴールは「地域社会の課題解決のためのまちづくりの企画提案」ですが、不謹慎な話ですがこの講座で最も私が惹かれたのが「まち歩き」を楽しむ。そして「まちの資源の発見・気づき」を感じることでした。経費も僅かで徒歩を主体とした「まち歩き」を時々行うことが一つの愉しみに今は成っています。

先日も瀬田駅から南草津駅までをウォーキングしました。この日のテーマは瀬田、草津、栗東を開墾した古代豪族治田連の足跡を巡ることです。瀬田大萱地区の氏神である萱野神社が始点です。神社由緒にある治田連が淡海の国造として栗太一円を開墾したこと、また治田氏遠祖が開化天皇であること等々が記載されています。しかしながら何より興味を引くのはご神体が亀であり日照りで困った時に現れて農民の窮状を救ったことや、現在の津市と草津市の境界である「狼川」も「大亀川」が変じたことを匂わせることで「蓑亀」が拝殿に掛けられています。当然ながら境内の池には亀が悠然といます。

東に歩み進める。春には両岸が桜花で美しい長沢川を渡り奈良時代の条里制の面影も残す田園を横切って天井川の狼川を越えると草津市の南笠地区に入る。笠はレイカディア大学草津校のある笠山と同じで「りゅう」とも読めることから龍神伝説となったり、渡来人系である笠氏と諸説が言われており本当に興味津々です。南笠の地に治田神社に到着してその由緒を見ると萱野神社と同じく、治田連の功績と開化天皇を祭神としていることが石板に彫られています。そして何もまして神社近辺に南笠古墳が存在していることが驚きです。古墳の案内板には22丘あったとの記載もありますが、こんもりした墳墓は前方後円墳ということであり大和王権配下の地元豪族で治田連に係る人物が葬られたと想定される旨あり、十禅寺川を越えて南草津駅に向かい一先ずこの日は終わりました。栗東市に入ると治田の名称は公共施設、学校にも多数見受けられ歴史の流れ考えずにはおられません。



萱野神社の亀



南笠古墳



萱野神社蓑亀



治田神社

令和4（2022）年度支部長所信

～前期を振り返って今期の計画と抱負～

支部長 藤田 順一（37期 園芸・志賀）

令和3（2021）年度を振り返る

同窓会の目的を次の3点に纏め活動を継続した。

1. 会員相互の親睦交流

親睦交流の重要な行事であった「新入会員歓迎会&大津の集い」は、コロナ禍の影響から4月の第37回定期総会前に簡素化した41期生の「新入会員入会式」に変更した。歓迎会では役員紹介・自己紹介・記念写真にとどまり、新入会員との交流は歓迎会には中途半端な結果になり反省を要する結果になった。

2. 諸活動を通じて地域社会の発展に貢献（5部会と各サークル活動）

支部活動は4月から徐々に開始したが、8月と9月に滋賀県緊急事態宣言発出となり活動は一旦中止した。制約の多い年度ながら各部会活動は積極的に取り組み実績を残せたのと、会報「かけはし」のカラー化推進に合わせて、それらの活動を広報した。

3. 母校の発展に寄与する

新しい取組として平和堂石山とアル・プラザ堅田で大津支部の文化部会作品展示と地域活動部会の活動紹介、マジック・紙芝居・健康体操のイベント上演を行いながら、店内で募集要項を配布した。43期の応募は大津市から70名の入学者に繋がり成果を出せた。



令和4（2022）年度の計画と抱負

①会員の確保

- 42期卒の大津市在住者49名全員が同窓会入会となり大きな成果を出せた。
- 44期の学生募集も、募集要項の自治会組回覧・平和堂店頭のチラシ配布・平和堂石山とアル・プラザ堅田で作品展示会を開催して募集要項の店内配布等を行い、レイカディア大学紹介と応募の促進を行う。
- 43期在校生の地域体験学習の紹介に積極的に取り組み、大津支部活動の参加を得て同窓会入会動機に繋げる。
- 4月時点で地域活動に在校生から32名の参加希望となっており、新入会員増に結び付く事を期待している。
- 大津支部入会を期待して大津市在校生に会報「かけはし」の配布を継続する。

②部会・サークル活動の充実と拡大

- 4月から新役員体制になり、コロナ禍で制約を受けながらも、親睦・交流は同窓会活動の一丁目一番地として、地域ミーティングの充実と部会活動等を通じて会員相互の交流を行う。
- 新入会員の歓迎会は、定期総会と入会式が同一日になり時間の制約を受ける中でも工夫をし、地域別に会員の氏名浸透を図るため自己紹介記事と、入会者集合写真を「かけはし」に掲載する。

③今期は役員改選の年であり、役員退任者にご苦勞様でした。

新しくなった役員体制の元で、此れからの2年間で気持ちを新たに、会員と共に歩んでいきます。

2022 年度（第 38 回）大津支部定期総会

2022(令和4)年4月15日(金)13時～14時45分に滋賀県長寿福祉センター大教室で支部総会が開催されました。総会の出席者は86名で委任状139名でしたので、現在の会員数257名の過半数の参加で支部総会は成立しました。

昨年度の物故者の黙とうと支部長の挨拶の後、司会者：中川幸子幹事(37 期地文・一里山)、議長：佐瀬章男顧問(25 期生活・瀬田北)を推薦のもとで議案審議に入りました。

- 第1号議案 2021年度事業報告
- 第2号議案 2021年度収支決算及び監査報告
- 第3号議案 会則の一部改定(案)
- 第4号議案 役員の改選(案)
- 第5号議案 2022年度事業計画(案)
- 第6号議案 2022年度収支予算(案)

*質疑：会則第16条第2号に「新卒者の会費は1,000円」とあるが、予算案では2,000円で計上されているのはなぜか？

*回答：会則は10月入会を前提に定めたもので、半期分の徴収となっている。現在の規定では誤解されるので、会則第16条第2号の規定を「10月から3月末迄に入会する新卒者及び既卒者の会費は年1,000円とする。」と改定する。

以上、第1号議案～第6号議案まで、全ての議案が承認可決されました。



2022(令和4)年度本部定期総会

2022(令和4)年5月11日(水)13時30分～16時00分に滋賀県長寿福祉センター大教室にて本部定期総会が開催された。新型コロナウイルス感染症対策として今年もリモート参加も行われた。出席者は89名とリモート参加5名の計94名で、大津支部からはリモート参加の1名を含めて19名が参加した。

最初に滋賀県健康医療福祉部医療福祉推進課長・飯田朋子様、レイカディア大学副学長・奥村光一様のお二人からご祝辞を頂戴しました。

議長に甲賀・湖南支部の市井眞一さんを選任して議事審議に入りました。

- 第1号議案 令和3年度事業報告
- 第2号議案 令和3年度収支決算報告及び監査報告
- 第3号議案 役員の改選(案)新役員の紹介
- 第4号議案 令和4年度事業計画(案)
- 第5号議案 令和4年度収支予算(案)

第1号議案から第4号議案までは承認可決され、第5号議案は、繰越金などの記載に誤りがあり、議長に修正を一任することになった。

第2部 記念講演

講師 落語家 てんご堂雅落(笑福亭鶴瓶門下)
演題 「笑って元気にほがらかに！」

総会の審議に入る前には、長寿者慶祝(白寿・米寿)が行われ、大津支部の齋藤治子さんが受賞者を代表して賞状と記念品を受領されました。(白寿:大正13年生は対象者なし、米寿:昭和10年生は33名が受賞)



新入会員入会式の報告

今年の 42 期生は、支部長の熱心な呼び掛けで、49 名全員が同窓会大津支部に入会された。昨年度の 41 期生も、コロナ禍の影響で、支部総会と同日に入会式を行っている。残念ながら、十分な歓迎会や活動への誘いが足りていなかったためか、同窓会を退会された方もおられた。その反省から、入会式の実行委員のメンバー 13 名には、4 地域から 41 期生 9 名を選抜して頂いた。

当初、同窓会活動の経験も浅く、わからないまま新入会員を迎えることに戸惑いを感じておられたが、昨年度の入会式での経験やその後の支部活動への疑問など、率直な意見を聞かせて頂いたことで、どうすればより良い入会式になるのかが見えて来たと感じて取り組んだ。大切にしていたことは、迎える側の都合ではなく、新入会員の視点に立って歓迎することを念頭に置いた。

入会式当日、50 名の入会者の内、44 名が出席されて、4 地域に分かれて受付を行い、会費の徴収、ボランティア保険、入会式の資料をひとりひとりにお渡しした。支部総会に引き続いて、午後 3 時から新会員と既会員合わせて 108 名の参加で入会式をスタートし、支部活動の理解と参加のキッカケ作りを心掛けた。41 期生の西田さんと前田さんの司会で、藤田支部長の挨拶、新入会員の紹介、42 期生代表の高木さんの挨拶、支部役員の紹介を終えて、大教室の演台前での集合写真、河野事務局長からの支部活動紹介を行った。



入会者代表挨拶(高木さん)



新入会員の記念撮影(最前列は支部役員)

その後に、前回ほとんど時間を取れなかった地域懇談会を 4 地域に分かれて開催した。当初は 30 分程度の時間を想定していたが、会場への移動や整備に手間取り、20 分程度になった。懇談会は各副支部長の主導で進められ、入会式実行委員が懇談会の状況を聴取し後日報告頂いた。地域によっては、早々に歓迎会や地域ミーティングを計画され、更なる「会員の親睦」を深める機会作りのフォローが行われている。

入会式の記念に何かないかと知恵を絞っていたが、大学祭に代わる課題学習発表会を見学したときに 43 期生の園芸学科が手作りで渡していた「無患子（むくろじ）のストラップ」が気に入り、下阪本の磯成神社にある無患子を思い出して木の実を集め、実行委員の仲間と 50 名分のストラップを作って渡した。コロナ禍が収まっていない中での活動には、お守りになるものと思っている。



何とか無事に入会式を開催出来たが、実りある入会式になったかどうかは、新入会員の皆さんが支部の活動に興味を持って関わり、卒業後を元気に、楽しく過ごしておられるかによると思っています。是非、これからも地域での親交を通じて、温かく新入会員を見守り、仲間の輪を広げて頂きたいと願っています。幸いにも、次の 43 期生が卒業するのは来年の 9 月になり、総会と同時の開催にならないため、昔の様な新入会員の歓迎会と地域対抗も兼ねた支部全体の交流会をたっぷりと余裕を持って取り組むことができます。そのときには、42 期生が胸を張って迎えて頂きたいと思っています。（入会式実行委員長：一色 実）



地域懇談会の様子



地域ごとに新会員の撮影

新入会員へのアンケート調査結果

盛りだくさんな入会式の中、90 分間の短い時間でアンケートをお願いし、参加された 42 期生 44 名の内、42 名の方にアンケートに回答頂きました。ご協力頂き、感謝申し上げます。

従来も、アンケートをとっていましたが、今回は単なる行事の評価に留めずに、入会式的主旨である「新入会員の活動への参加の第一歩」になるために、支部活動の仕組みや体制の見直しにも生かして行きたいと考えてアンケートを準備しました。そのため、設問 6 に「直近 6 か月間の活動で、体験参加したいものはありますか」、設問 7 に「同窓会大津支部への希望・期待・要望にご意見下さい」を入れました。

設問2. 今後の連絡方法：42 名中 38 名がメールと回答しているように、メール人口が増えてきています。BCC にするなどして、個人情報が拡散しないように配慮が必要ですが、活用して欲しいと思います。

設問3. 式典の評価：高く評価していただきホッとしています。

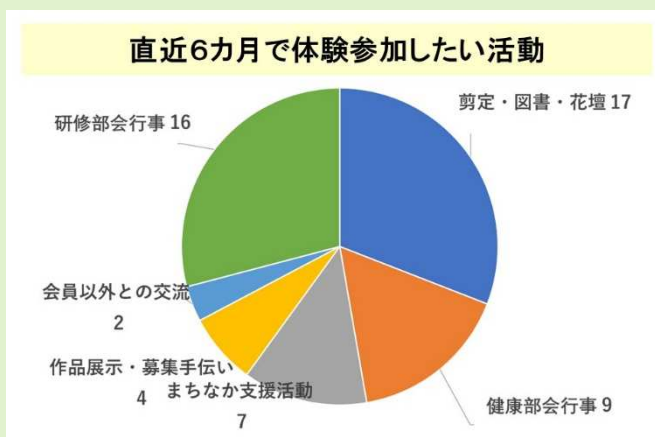
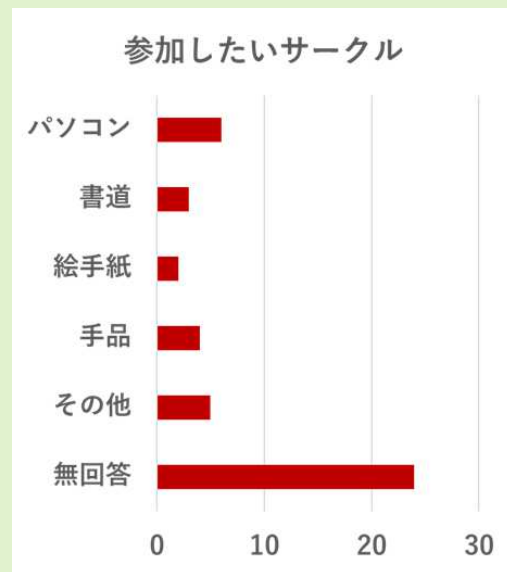
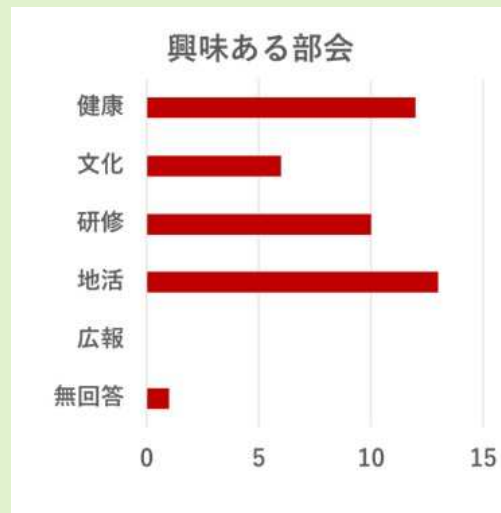
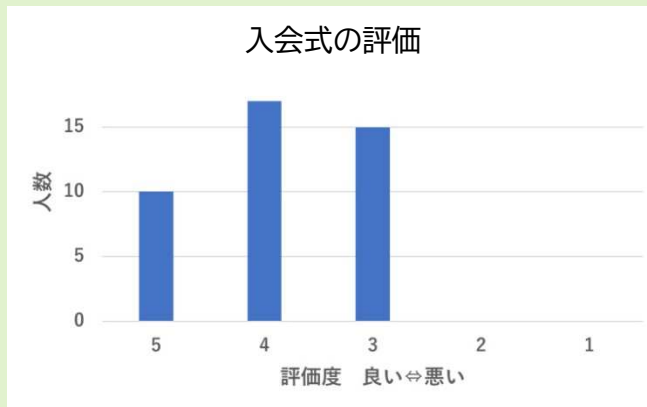
設問4. 5 部会の活動内容の理解と興味については、広報部会への興味度が低くなっています。敷居が高いのか、記者魂のある方、支部活動に光を放って欲しいです。

設問5. 参加したいサークル活動：回答しづらいのか、やはり、「レイカ大津の集い」のように、サークル活動の作品展示や実演でのアピールが必要だったと思います。既存のサークル活動からはみ出して、新しい仲間やクラスメンバーと一緒にやってみたいサークルがあれば創り上げて下さい。制約はありません。自由です。

設問6. 直近6か月間の体験参加希望：小学校のボランティア活動や研修部会・健康部会の活動への参加希望が多く、皆さん、コロナ禍で籠っていた身体を動かしたいと思われています。

設問7. 同窓会大津支部への希望・期待・要望について 12 名の方にご回答頂きました。どれも、貴重なご意見で、役員会でも伝えていきます。特に、「部会、サークル、委員会などの位置付け、内容が混ざって理解が今一つ進まない」、「活動の参加方法がいまいち不明です」の意見に対して、小冊子を作ってガイドできるようにしたいと思います。また、「これからサークル活動等考えていく」、「大変楽しみです」、「他の地域への参加希望」など、前向きなご意見が寄せられました。

個人情報には留意して取りまとめています
が、体験参加などのご希望に沿えるように、各地域の副支部長や各部会長に伝えて、参加への声掛けをお願いしています。（入会式実行委員長：一色 実）





第1回ハイキングの報告（5月30日）

コロナ禍での活動自粛で、令和3年度は健康部会の活動も制限され、やむなく中止をした活動が多くありました。令和4年度も危惧されましたが、なんとかコロナ感染も落ち着き今回は実施したいとの健康部会員全員の強い気持ちでいました。第1回ハイキングは瀬田の唐橋経由の石山寺ハイキングを企画しました。特にコロナ禍で何も出来なかったに等しい41期・42期の入会者には、大津支部の活動に参加して頂きたいとの強い思いがありました。が、実施日は本降りの予報、テルテル坊主頼みでしたが、なんとか晴れになり実施できました。

総参加者は39名で、内41期・42期生は21名と半数強でした。新入会員の全員では無いが多くの皆さんに参加して頂き感謝しています。

石山駅松尾芭蕉像前に集合し、受付後、柔軟体操を。勿論、体操指導は主役の41期健康づくり卒の麗しき女性3人に厳しく指導を頂き、痛いやら・ついていけないやらで苦闘しましたが、なんとかクリア。ご指導ありがとうございました。

地区ごとに3班に分かれ、観光ガイドの案内で瀬田の唐橋経由で石山寺へ。観光ガイドは「古都おおつボランティアガイドの会」所属の大津支部仲間の野さん・古市さんとレイ大現役の山崎さんの3名です。レイ大仲間の詳しい説明にビックリ、まるでその時代に生きていたかの錯覚を覚える説明に感動しました。誰かが「ほんまかいな」と小声でそっと言っていました。

「急がば回れ」の語源である「瀬田の唐橋経由」と紫式部の「石山寺」は観光パンプを参照して頂き、ここでは詳しい説明は割愛させていただきます。

石山寺の急坂を足腰に自信がない方向けにガイドの機転で迂回道を案内して貰うなど、さすがレイ大所属のガイドと感心させられました。持参の弁当を参加者全員屋外で一堂に会し食べられたのは、コロナ禍の今、最善だとガイドの提案に感謝しています。

今年度の事業計画は、室内スポーツ大会2回、グラウンドゴルフ大会3回、および研修部会との共催事業1回を開催する予定です。次回の行事は、7月に室内スポーツ大会を予定しています。真夏日が予想されるので、クーラーが効いた室内スポーツ大会がベターと思っています。9月には、グラウンドゴルフ大会を予定しています。今後も健康部会の行事に参加して頂ける様に企画します。ご期待とご参加をよろしくお願いします。（健康部会長 久保和巳）





❖2021 年度の報告

昨年度はコロナ禍の影響で多くの計画が中止や延期となりましたが、その準備にかかる手間は同じですので、けっこう大変な苦勞を強いられました。

【実施できた行事】

- ・アル・プラザ堅田「イキイキふれあい祭り」（7月2日～5日） 来場者 822 名
- ・平和堂石山「イキイキふれあい祭り」（7月23日～26日） 来場者 308 名
- ・大津支部作品展（11月11日～13日）大津市生涯学習センター 来場者 191 名
- ・平和堂石山「イキイキふれあい祭り」（1月14日～17日） 来場者 453 名

【中止または延期された行事】

- 市民陶芸体験講座（5月および10月）
- 大津支部作品展（5月）
- アル・プラザ堅田「イキイキふれあい祭り」（6月および2月）

❖2022 年度の計画

今期の計画は次の通りです。詳細は追ってお知らせいたします。

- ・平和堂石山「イキイキふれあい祭り」（6月10日～13日）
- ・アル・プラザ堅田「イキイキふれあい祭り」（7月1日～4日）
- ・市民陶芸体験講座（10月7日） 大津市生涯学習センター3階 美術工芸室
- ・大津支部作品展（10月13日～15日） 大津市生涯学習センターギャラリー

❖市民陶芸体験講座を開催しました

日時：5月13日（金）9時30分～15時

場所：大津市生涯学習センター3階 美術工芸室

通常は募集人員 24 名で講師も 10 名以上で行っておりますが、三密を避けるため募集を 18 名とし、講師も 6 名に規模を縮小して部屋の開放換気、全員の手の消毒、講師はフェイスシールド装着とコロナ感染対策を実施しました。

講師が少ない分、今までより忙しく対応せねばなりませんでした。午前中の成形と午後の削りも何とか受講者全員完了することが出来ました。今回が初めての方も居りましたが、それなりに出来上がりました。中野さんより受講者全員にお皿のプレゼントがあり、みなさん大変喜んでおられました。



「文化部会」

❖ 平和堂石山で「イキイキふれあい祭り」が開催されました

① 6月10日(金)15時～13日(月)13時 会場：3階フードスペース

② 展示作品の種類と作品点数

書：11点、 絵画：1点、 絵手紙：11点、 陶芸作品：19点、
パッチワーク：2点、 竹灯籠：16点 **合計：60点**

③ 来場者数

6/10：10名、6/11：227名、6/12：143名、6/13：67名 **合計 447名**

マジックと紙芝居への来場者数は6/11と6/12の計で **40名**

④ 所感

- ・1月に実施した平和堂石山での「イキイキふれあい祭り」の来場者453名に比べ今回は447名とほぼ同規模の来場者数となった。
- ・竹灯籠の作品の細かい技術に感心された方が多く、時間をかけて観察されていた。
- ・パッチワークの2点は大作で、女性の方の関心を引いていた。素晴らしいと好評であった。その他の作品もレベルが高く、レイ大の知名度向上、44期生募集活動に貢献できたと思われる。
- ・紙芝居とマジックには多くの親子さんが参加され、大いに盛り上がっていた。
- ・レイ大の学生生活と作品展の関わりについての質問もあった。クラブ活動があることについては理解してもらえるよう説明を行った。
- ・44期生募集のチラシ配布では、NHK おうみ発 630 での紹介もあって、レイ大に関心を持っている方が多いように思われた。

❖ アル・プラザ堅田での「イキイキふれあい祭り」は

7月1日(金)15時～4日(月)13時。会場は1階センターコートです。



「研修部会」

～参加して 味わおう 知る楽しさを～



1. 令和4年度活動方針

同窓会会員の「教養と知識向上」のために大津市内はもちろんのこと滋賀県内の施設見学・研修、学術的な講演・歴史探訪などの実施を目指します。過去の実績から年度4回程度のイベント催行を企画するところです（健康部会との共催行事含む）。

令和4年度研修部会の人数は18名（新規会員7名）の体制です。



彦根地方気象台

2. 活動予定について

具体的な内容は今後、研修部会内で検討を行いますが、過去2年間、新型コロナウイルス感染症の影響で残念ながら未実施となっております案件を中心に先方と交渉を進めていくところです。



豊郷小学校旧校舎群

【主な未実施の案件】

- ・彦根地方気象台見学会
- ・愛知川「近江上布伝統産業会館びんてまりの館」見学会
- ・豊郷小学校旧校舎群等見学会

愛知川方面の施設見学会の実施を優先したのち、屋内での講演会を検討していますが、未だ新型コロナウイルス感染症の状況は予断を許しません。様々なアクシデントが発生するかもしれませんが、安全安心に十分配慮しながら楽しく有意義な活動の実現に努力します。



びんてまりの館



令和3年度 琵琶湖博物館見学会

「地域活動部会」



～無理しない！ 出来る時に、出来ることを、出来る範囲で！～

1. 2022 年度活動方針と年度計画

本年度の部会長になりました、比叡地域堅田地区の大野光男です。新型コロナウイルス感染拡大の防止対策の観点から、この2年間多くの地域活動が中止や縮小となってしまった。

特に「まちなか支援活動」は中止が多く、今年度の開催も不透明であるが活動は郊外であることから再開される活動が増えることを期待している。

◎本年度は瀬田地域の石飛博高様と中央地域の近藤博次様に副部会長をお願いした。

◎地域活動報告の情報を部会員と共有して、仲良く楽しく一緒に取り組んでいきたい。

2. 活動計画

- ・「小学校支援活動」は、新入会員の皆様、在校生、一般市民の皆様が一人でも多く参加して頂ける様に、4地域の情報を共有し合い、活動の充実化を目指す。
- ・「まちなか支援活動」は、各行事の主催団体、関係先と打ち合わせを行い取り組みたい。
- ・「44期学生募集支援活動」は、各地域の自治会での組回覧、掲示板へのポスター貼り、及び平和堂各店舗での募集チラシの店頭配布、石山店、堅田店で実施予定の作品展会場における募集案内の配布を行う。



仰木小学校 校庭美化。



平野小学校 図書整理



青山小学校 校庭美化



瀬田東小学校 校庭花づくり

3. 各地域の支援活動実績（4月1日～5月25日）

比叡地域

- ・校庭美化 : 6回 51名（一般5名）
- ・校庭花づくり : 43回 54名（一般10名）
- ・除菌 : 13回 13名

中央地域

- ・校庭花づくり : 10回 16名（在学生1名）
- ・図書整理 : 2回 11名（在学生1名）

石山地域

- ・校庭美化 : 2回 28名
（在学生4名、一般1名）
- ・校庭花づくり : 44回 4名

瀬田地域

- ・校庭美化 : 6回 33名
- ・校庭花づくり : 4回 14名（一般4名）
- ・図書整理 : 7回 29名（一般3名）

まちなか支援活動

- ・建部大社境内美化 : 1回 4名
- ・大津っ子祭り : 2回 11名

小学校支援活動実績表および まちなか支援活動実績表

2021(令和3)年度 小学校支援活動実績表
(2021年4月1日～2022年3月31日)

地 域	支援項目	学 校 名	回数	参加者数
比 叡	校庭美化	木戸小、仰木の里小、仰木の里東小、 仰木小、真野北小、真野小、坂本小、 志賀小、堅田小、小松小、小野小、 雄琴小、伊香立小、日吉台小、和邇小、 唐崎小、真野北児童クラブ	37	278
	図書整理	仰木の里小	1	5
	校庭花づくり	小松小、木戸小、真野北小、真野小、 堅田小、和邇小、小野小、伊香立小、 仰木小、仰木の里小、仰木の里東小、 雄琴小、日吉台小、坂本小、下阪本小、 唐崎小、志賀小、堅田幼稚園 真野北児童クラブ	82	110
	小学校除菌	真野北小	78	78
	比叡地域合計		198	471
	中 央	校庭美化	長等小、逢坂小	4
図書整理		平野小	8	52
校庭花づくり		平野小、長等小、逢坂小、中央小	23	33
中央地域合計		35	132	
石 山	校庭美化	南郷小、石山小、青山小、晴嵐小、 大石小、南郷幼稚園、田上幼稚園、 大石幼稚園	15	126
	昔遊び授業	南郷幼稚園	1	15
	石山地域合計		16	141
瀬 田	校庭美化	瀬田小、瀬田南小、瀬田東小、 瀬田北小、瀬田幼稚園、瀬田北幼稚園	20	150
	校庭花づくり	瀬田東小	12	67
	図書整理	瀬田南小、瀬田北小	38	153
	瀬田地域合計		70	370
大津支部 小学校支援活動 総合計			319	1,114

2021(令和3)年度 まちなか支援活動実績
(2021年4月1日～2022年3月31日)

支 援 項 目	回数	参加者数
境内美化(建部大社)ボランティア	2	12
唐崎やよい作業所ボランティア	2	8
スポーツゲームボランティア(聖火リレー)	1	29
平和堂作品展 & 学生募集支援活動	16	201
シルバー作品展監視員ボランティア	3	12
大津支部 まちなか支援活動 総合計	24	262



知名度向上委員会だより

1. 知名度向上委員会スタートについて

2019年6月に「知名度向上プロジェクト」が大津支部の特命事項として発足した。各種活動を展開し目に見える成果も出ているが、未達項目もあるため、更なる展開をするうえで5部会活動・各地域活動との連携が必須のため「知名度向上委員会」として2022年4月からスタートすることになった。

2. 知名度向上委員会メンバー(★委員長 ☆副委員長)

委員：藤田順一・一色 実・大野光男・関谷 進（比叡地域）、
柏木明美・野村 稔（中央地域）、
☆河野安明・大平恭文・児玉きみ子・小篠伸二（石山地域）、
★河村良一・中村 登・長 幸雄・大塚志津子（瀬田地域） 計14名

3. 活動の重点内容

知名度向上プロジェクトで実行してきた課題は継続実施する。そのなかで特に注力していくものとして

(1) 外部団体との協働

龍谷大学・坂本特任准教授との関係強化

龍谷大学ツールの活用：SNSを使用したICTツールの活用で昨年ワークショップを開催し、ZOOMの勉強会をゼミ学生さんからご指導頂いた。本年はインスタグラムを活用したワークショップを企画検討している。5月19日に龍谷大学にて顔合わせ会を行い、本年度ワークショップを7月7日に開催する予定。



龍谷大学顔合わせ会（5月19日）

(2) 知名度向上の見える化活動

- 平和堂石山、アル・プラザ堅田での展示会、各種イベントでのサポート並びに企画サポート
- 5部会活動、各地域活動イベントの支援
- 一般市民参加へのアプローチ（PR活動、ビブス着用等々）
- 「大津っ子祭り」参加での各種アプローチ

5月15日に皇子が丘公園体育館で「大津っ子祭り」に参加して佐藤大津市長と懇談の機会を得た。今後「かけはし」配布時に市長ミーティング等の実施並びに大津支部イベント参加の打診を計りたい。



佐藤市長との懇親（5月15日）

4. Walatte（エールコーポレーション機関紙）6月号に知名度向上委員会の活動が紹介されました。大津支部での2年間の知名度向上に関する活動と委員会としての今後の活動と期待について河村委員長とのインタビューが記載されています。

事務局からのお知らせ

❖2022 年度 同窓会大津支部 役員

支部長

藤田 順一



事務局長

河野 安明



事務局次長

小篠 伸二



知名度向上委員長

河村 良一



副支部長 (比叡)

一色 実



副支部長 (中央)

首藤 優克



副支部長 (石山)

河嶋 文雄



副支部長 (瀬田)

長 幸雄



健康部会長

久保 和巳



文化部会長

橋爪 一雄



研修部会長

本郷 芳紀



地域活動部会長

大野 光男



広報部会長

中村 健一郎



会計 松井 清

監事 詫間 秀夫、荒堀 勝正、住若 富子

顧問 佐瀬 章男、岩田 和彦、大口 正勝

HP担当 中村 登

歓迎会実行委員長 首藤 優克

新年会実行委員長 杉山 明

事務局員 一色 実、釜淵 佳明、小篠 伸二、宮下 康子

❖第5回レイカディア大学陶芸作品展が開催されました

4月5日～10日の期間、滋賀県立美術館で第5回レイカディア大学陶芸作品展が開催されました。当作品展では、陶芸学科の卒業生、在校生の800点余りの力作が出展されました。多く(約1,200名)の来場者を迎え、盛況のうちに終わることができました。出展者は15期生の超ベテランから現役43期生まで合わせて190名余りで、コロナ禍での制約も乗り越え制作された個性あふれる作品群に評価も上々でありました。(作品展実行委員長 40期 瀬田・陶芸 小野義郎)



❖「大津っ子まつり」に初めて出展

本年5月15日(日)皇子が丘公園体育館において開催された「第38回大津っ子まつり」にレイカ大津として初めて出展参加しました。

大津っ子まつりは、「ひろげよう つなごう ともだちの輪」をキャッチフレーズに子供たちの成長を願って毎年開催されていますが、最近の2年間は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止されていました。

今年度も規模を縮小して、参加者は事前予約制で人数を制限し、かつ、午前と午後の参加者は総入れ替えするという徹底ぶりでしたが、560名の来場がありました。

19の団体が出展し、例えば、ペットボトルロケット、バルーンアート体験、ぬり絵や粘土などを使って、ものづくりや体験、ゲームなどで子供が楽しみながら学べる工夫をされていました。



佐藤大津市長も
ぐい飲みをお買い上げ



私たちのレイカ大津のブースでは、陶芸品の展示販売、子供向けのマジックの実演と体験などを行い、午前と午後とで63名の皆さんが集まってくれました。

第44期学生募集案内も準備して子どもさんと一緒にお見えの親御さんにレイカディア大学の案内や大津市内での小学校支援活動について説明をしながら、レイカディア大学や同窓会大津支部の知名度向上に貢献しました。

陶芸作品の販売代金6,600円は大津市社会福祉協議会に全額寄付することにしました。

❖大津支部納涼会(仮称)の開催を検討中

会員相互の親睦を図るための「新年会」がコロナ禍で2年間連続して中止せざるを得なくなっており、また、冬場には感染者が増える傾向もあることから、上期の小学校美化活動や学生募集活動が一段落した頃に食事会などの親睦行事ができないか役員会で検討を進めております。

実施にあたっての詳細は、役員会での議決を経て、開催の可否を決め、開催準備は、支部長・副支部長・事務局を中心に開催日時、会場の確保、参加者の募集を行います。

今後の感染者の状況にもよりますが、晩夏から初秋の開催を目指して検討を進めて参りますので、開催が決まりましたら、感染対策を講じたうえ、皆様のご参加をお待ちしております。

❖第44期学生募集活動 平和堂各店でのチラシ配布

大津支部では、母校の発展に寄与するための活動として、学生募集案内のお知り合いへの配布や自治会回覧など、皆様にご尽力を賜っておりますが、今年は同窓会本部から平和堂本部にお願いして、平和堂各店の店頭でのチラシ配布を実施することになりました。

アル・プラザ瀬田(4回)、平和堂石山(2回)、フレンドマート南郷店(2回)

フレンドマート大津駅前店、フレンドマート大津なかまち店、フレンドマート大津テラス店

フレンドマート大津膳所店、フレンドマート唐崎店、平和堂和邇店

アル・プラザ堅田(2回)、平和堂坂本店(2回)

◆Walatte(わらって)6月号に「知名度向上委員会」が紹介されました

地域で頑張る人たちの応援マガジン「Walatte6月号」(エールコーポレーション(株)発行のミニコミ誌)に河村良一知名度向上委員長のインタビュー記事が掲載されました。

「すばらしい活動を継続するために」と題して、知名度向上委員会の取組が紹介されています。

すばらしい活動を 継続するために

Walatte
No.134

レイカディア大学同窓会大津支部は、滋賀県レイカディア大学の卒業生で構成されている団体で「地域社会貢献活動」「民発信活動」「会員発信活動」など多岐に渡る活動をされています。会員数は257名。『知名度向上委員会』は、レイカディア大学同窓会大津支部の知名度向上及び会員のモチベーション向上を目指して発足。外部団体との協働、活動の見える化、メディア向けアプローチなどの活動をされています。メンバーは現在10名。



かわむら りょういち
委員長 河村 良一さん

活動内容は?

外部団体との協働や活動の見える化を中心に活動を行っています。具体的には小学校支援活動、パンフレットの学校配布、大津市長との面談、龍谷大学社会学部コミュニティマネジメント学科坂本准教授との共同実践研究などを行っています。今年には新たに「大津つ子まつり」へ出店し、陶芸品展や野菜販売、マジック



越前市長との面談

きっかけは?

滋賀県レイカディア大学(レイ大)卒業生で構成されているレイ大同窓会大津支部は、地域貢献活動を企画・運営し、会員相互の健康維持を通じて地域発展への寄与を目的に活動を行っています。祭りやスポーツ大会、ヨシクリなどのボランティア活動、小学校の環境美化や図書整理活動、パソコン教室や絵手紙教室など多種多様な活動を行っています。しかしながら、私たちの活動はあまり知られていないのが現状です。その為に会員達のモチベーションが上がらずに、一時期退会者が増えたのが発足のきっかけです。大津支部の知名度向上及び会員のモチベーション向上を目的に2020年「知名度向上プロジェクト」を立ち上げ、2022年「知名度向上委員会」と改名し、組織化して活動をしています。

一般市民にも気軽に参加してほしい。

探究心・好奇心・向上心旺盛な河村さんに、活動の様子と今後の想いを伺いました。

◆大津支部会員数 288 名 (6月1日現在)

地域別	令和3年度末 会員数	増 減		令和4年度 会員数
		退会者	入会者	
	(A)	(B)	(C)	(A-B+C)
比 叡	53	1	15	67
中 央	48	4	9	53
石 山	77	7	15	85
瀬 田	79	7	11	83
計	257	19	50	288

◆執行役員会と役員会の日程

6月27日(月)	役員会	9時30分～	レイ大大教室
8月5日(金)	執行役員会	9時30分～	大津市生涯学習センター
8月24日(水)	役員会	9時30分～	皇子が丘公園体育館(会場手配予定)
9月2日(金)	執行役員会	9時30分～	大津市生涯学習センター
9月30日前後	役員会		

長寿慶祝者へのインタビュー

2021 年度中に米寿を迎えられた方が大津支部に 3 名おられます。小川陽一さん（20 期 生活・平野）、齋藤治子さん（19 期 陶芸・瀬田南）、原田 勲さん（26 期 園芸・瀬田北）で、5 月 11 日の本部総会で長寿慶祝の賞状と記念品を授与されました。このうち、齋藤さんに思い出や長寿の秘訣などをお聞きする機会がありましたので、ご紹介させていただきます。

齋藤治子さん（19 期 陶芸学科・瀬田南）

インタビューの前に、齋藤さんからは「米寿のお祝いを頂き誠にありがとう御座いました」と同窓会への感謝のお気持ちを述べられました。

齋藤さんにレイ大卒業後のアクティビティをお聞きし、ただ驚くばかりです。平成 10 年に卒業後 6 年間にレイ大での陶芸助手を含め、皆さんと陶芸学科の発展に尽くされました。また別に 2 つの陶芸教室で 16 年間と長きにわたり陶芸技術向上のため勉強されました。他に表装教室での掛け軸制作、書道サークル、パソコン同好会教室と幅広く、米寿を過ぎても、まだまだ積極的に活動され就学志向は止まりません。

一方、ボランティア活動では平成 19 年に絵手紙サークルを立ち上げられ、同窓生と一般市民の方とで楽しく地域の活性化に現在も代表者として活動されておられます。コロナ禍で好きな海外旅行は出来ず、現在はもっぱら国内旅行を楽しまれています。

長生きの秘訣は、心穏やかに健康に気を付け生涯現役、豊かな毎日が過ごせる様に皆さんに感謝する事とおっしゃっておられます。（広報部会：中村健一郎）



ひとくちメモ

びわ湖も長寿な湖で、その誕生は数百万年前とされています。
びわ湖の平均水深は、北湖が約 40m で南湖が約 4 m ですが、
それでは最大水深は何メートルで、その場所はどこでしょうか？

ちまたでは、竹生島あたりが最も深いなどと言われているようですが、
実は最深部は安曇川（あどがわ）河口沖で、深さは約 104m です。

この場所の近くには「水没島」と呼ばれる浅瀬があって、その東側が最深部です。川などでよく見られる「甌穴（おうけつ）」という深くえぐれた穴ですね。

おそらく、「水没島」の存在によって水の流れが速くなり、湖底を削っていった結果だと思われます。（広報部）



❖比叡地域

浅井 雅代 （志賀・園芸）

コロナのため休校があり2年半で卒業しました。楽しく有意義な時間をレイカディア大学で過ごせたと思います。これからは同窓会で新しい出会いを大切にして、行事や活動に出来る範囲で参加したいと思います。

渡辺 秀雄 （志賀・陶芸）

第42期陶芸学科に入学し、陶芸はほぼ初心者でありましたが、作陶～施釉～焼成を楽しく学ばせていただきました。その間、コロナ禍で不自由な面もありましたが、課題学習チームや親しい仲間と六古窯の常滑、瀬戸、丹波などを訪ねることができ、楽しい思い出とともに同志としての深い絆が培われたように思います。

同窓会大津支部の活動は地域活動体験学習で近くの小学校の「校庭美化活動」を体験させていただき、地域に密着した継続的な活動で学校関係者や地元自治会を含めて地域社会から厚い信頼と高い評価を受けていることを実感しました。同窓会大津支部に入会して、まったくの微力ではありますが、活動に参加することにより、少しでも地域に貢献できればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

中村 幸弘 （志賀・園芸）

レイカディア大学を知ったのは友人の紹介です。父から畑や山林を受け継ぎ管理方法が分からず放置しておりました。どうしたものか悩んでいたところタイミングよく大学の存在を知ることになりました。入学以来多くの仲間ができ、樹木の剪定の仕方や、畑の管理方法などを学びました。

現在は、自然農薬を勉強し、無農薬野菜を作っています。虫や病気に悩みながら、いろんな方々からアドバイスをいただき日々奮闘中です。『ヨクミール、テデトール、アキラメール』が私の野菜作りのモットーです。気さくにお声がけいただけたらありがたいです。



辻井 信夫 （堅田・陶芸）

令和4年4月大津支部に入会しました辻井と申します。私は守山北公民館で陶芸サークルに所属しており、今現在も時々陶芸を楽しんでおります。また卒業と同時に山寺の天井窯にも入会させて頂き陶芸・仕事と忙しい日々を過ごしています。皆様今後ともよろしくお願いいたします。

村田 省三 （堅田・園芸）

同窓会にご縁をいただきました村田です。私は、週3日間勤務をしていますので、諸活動は欠席がちになり、ご迷惑おかけすることが多くあると思いますが、よろしくお願いいたします。

橋辺 昌子 （唐崎・健康づくり）

私がレイカディア大学の健康づくり学科を選択したのは、以前より、ダンスサークル（子供から大人まで）のボランティアで指導している関係で、役に立つことを学びたいと思い、入学しました。入学し地域活動により出会った水泳支援ボランティアも続けています。よろしくお願いします。

❖中央地域

川嶋 良典 （皇子山・陶芸）

会社人間と働き地域との関りが薄く、定年後レイカディア大学で第二の人生を謳歌しました。大津支部の皆様方との新たなお付き合いの輪を広げたいと切望しております。なにとぞ宜しくお願いします。

小林 正幸 （打出・陶芸）

2年半の学生期間はコロナ自粛ばかりだったように思われます。その中、課題学習で取り組んだ土笛作りで仲間と共にボランティアができればいいなと思っています。今は忙しく植物栽培、金魚、メダカの飼育趣味にいそしんでいます。

田中 悦子 （平野・陶芸）

在学一年の時、「地域活動体験学習」で、平野小学校の図書整理と唐崎やよい作業所で陶芸のお手伝いをさせて頂きました。とてもいい経験をさせて頂き、卒業後も継続したいと思ったら同窓会に入った方がいいと言われ入会させて頂く事にしました。無理しないで楽しく取り組めたらと思います。宜しくお願い致します。

蓮尾 秀俊 （平野・園芸）

平野地区に住んでいます。レイ大では園芸学科に所属し、野菜の栽培、花の手入れ、樹木の剪定等々を学びました。コロナ下で制約もありましたが、大学祭などを通して楽しい学生生活を過ごしました。同窓会大津支部では地域のボランティア活動に努力したいと思います。宜しくお願い致します。

岩崎 恵子 （平野・園芸）

40 年になるブドウの木。何とか美味しい実をつけたいと園芸科に入りました。なかなか思うようにはいきません。ボランティア活動は少し経験させていただきました。できる範囲で参加させていただきたいと思っています。よろしくお願いします。

大西 雄冶 （膳所・陶芸）

2022 年 3 月に陶芸学科を卒業しました。陶芸を 7 年間続けていますが、未だに満足できる作品が作れません。しかし、諦めずに問題を突き詰めて考え少しずつ克服しています。成形の際に粘土が切れてしまうことがありましたが、土練りに問題があることを突き止めました。その結果、大きな器も作れるようになりました。



原 多恵子 （膳所・園芸）

レイカディア大学では新しい仲間との出会い、クラブ活動、ボランティア活動への取り組み方、コロナで色々ありましたが楽しい 2 年間でした。レイカディア大学同窓会大津支部に入会するきっかけは地域活動体験学習で石山地域の皆様に変にお世話になったことです。卒業後も大学で学んだ事を活かし地域の一助になれるよう中央地域に入会しました。今後ともよろしくお願いします。

❖石山地域

今橋 久之 （晴嵐・園芸）

出身は福岡県です。大津市には、2008 年から居を構えています。園芸学科は素人のまま卒業、課題学習では竹細工を経験しました。自然豊かな環境の中でウォーキング、ゴルフなどの運動も好きです。どうぞよろしくお願いいたします。

熊谷 隆 （晴嵐・びわこ環境）

令和元年 10 月に「第二の人生の始まりだぁ・・・」と新鮮な気持ちで入学して早 2 年半、レイカ色に染まりかけてきたところでもう卒業。これからは、同窓会大津支部にどっぷり染まりたいと考えております。どうぞ宜しくお願いいたします。

中山 敦生 （南郷・健康づくり）

レイ大では体育委員長をさせて頂き、有意義な学生生活を送ることが出来ました。健康には自信があります。今後は同窓会の皆さんと楽しく活動が出来るように頑張りますのでよろしくお願いいたします。

岸 紀雄 （南郷・陶芸）

コロナ禍の在学中はいろいろな制約が多かったですが、これからは同窓会の皆さまとのつながりを大切に、ポジティブな気づきや生活・行動を意識して実践していきたく思います。よろしくお願いいたします。

村上 智 （南郷・陶芸）

課題学習で 7 名のメンバーでオカリナの研究を行いました。チーム名は「オカリナ Rainbow」と言います。その過程でオカリナはもとより、土笛の制作へと活動は発展していきました。そして同時に 7 名の大切な友達が出来ました。今後はこの 7 名が中心となり、土笛制作のボランティアへと発展させていきたいと考えています。



泉 喜代子 （南郷・陶芸）

なんでも興味津々の私です。この事が年齢はいつていますが元気の秘訣だったと思い、これからもいろんなことに挑戦します。

市川 和夫 （南郷・びわこ環境）

滋賀県在住 40 年。現役時の勤務地は大阪です。校外学習で各地域へ足を伸ばし、同学科生と楽しく学習。クラブ活動では中学時代に少し覚えた卓球部に入り、令和 3 年 9 月まで活動。入会は「地域体験学習」で小学校の校庭美化活動参加がきっかけで、今後は校庭美化とヨシ刈りを中心に活動したく考えています。



井上 徳善 （田上・びわこ環境）

岐阜県出身、滋賀県に平成元年から住むようになり 34 年！自然豊かな滋賀を終生の地としてレイ大で得た友と共に楽しみたいと思います。

本多 千恵子 （田上・健康づくり）

レイ大入学以来、色んな面で試行錯誤の日々でした。各講座等は勿論大変勉強になりましたが、最終的には課題学習でのグループ活動が一番の思い出です。「歩いて健康づくり」の目的からの経験、体験、学習しながらの知識、仲間の皆さん達等々は大変得難い物になり私の大切な糧です。これからの社会へのボランティアなどはまだまだ未熟ですが無理なく自然に参加出来ればと思っています。

山内 孝子 （青山・健康づくり）

在学中は一年後期より前任者からの引継ぎで情報委員をしていました。同窓会の活動がよくわからずに入会しました。これから先輩方に教えていただいて少しでもお役に立てるように取り組みたいと思っています。よろしくお願いいたします。

横田 三樹夫 （青山・園芸）

課題学習で4人の仲間と県内名庭園を調査したこと、その仲間と試行錯誤のうえ大学祭に想定以上の出来映えの“箱庭”を出展できたことがよき思い出です。これからは石山地域の一員として地域社会に少しでも恩返しが出来ればと思っていますのでよろしくお願い致します。

原田 益栄 （南郷・健康づくり）

大橋 力子 （南郷・健康づくり）

井上 聡 （比叡志賀・健康づくり）

私達は42期健康づくり学科での課題学習に取組みました。新会員のやっぱり「うなぎ」3人組です。きっかけは、偶然にも「うなぎ」が大好きだと言うことが判明。そして2016年滋賀県民がうなぎの蒲焼き消費量が日本一！！

2019年うなぎの蒲焼き購入額全国1位は天津市！！との驚愕の事実遭遇。この事はレイカディア大学でも殆ど知られて無く、チャンス到来！それからは「うなぎ」のぼりを持つての食べ歩き、うなぎ検定上級資格取得、梅干との食べ合せなど諸説溢れるつかみ所の無い「うなぎ」を究め、最後は子ども食堂の支援まで辿り着きました。やっぱり「うなぎ」でした。



◆瀬田地域

山中 邦枝 （瀬田・陶芸）

初めての陶芸、2年間で少しずつ作陶の面白さとその奥深さを感じました。これからも続けていくつもりです。地域ボランティア活動は、できる範囲で参加して、新しい方との出会いと楽しみながら活動できたらと思っています。宜しくお願い致します。

上田 留市 （瀬田・園芸）

写真は近所で借用している農園で、36 m²・6 畝。ポピュラー作物作りを楽しみ、自宅では南国産多年草の越冬を試行錯誤中です。社会活動は、ボランティア2件、自治会役員、自主防災会防災士を担当。大津支部の活動には多くは参加できませんが、宜しくお願いします。



高木 清人 （瀬田北・びわこ環境）

高木 貞子 （瀬田北・びわこ環境）

神戸から転入した直後、娘夫婦に勧められてレイカディア大学に入学しました。充実した毎日が卒業後も続いています。環境問題やボランティア活動に目覚め、グラウンドゴルフの楽しさを知りました。とは言え、大津市民4年目の私たちは知らないことがいっぱいです。同窓会活動を楽しみにしていますので、よろしくお願いいたします。

瀧上 絹子 （瀬田北・地域文化）

レイカディア大学では高島や日野、野洲等、県内各地からの素晴らしい方々と出会い、自分の力の無さに落ち込みながらも楽しい学生生活が過ごせました。これからはレイカ大津の会員として地域応援活動を頑張りたいと思っています。よろしくお願い致します。

塚本 光代 （瀬田北・陶芸）

近隣の幼稚園、小学校の地域応援活動に参加したいと思っています。子供たちの安全を守り、お世話になった地域に少しでも役に立つ事が出来れば嬉しく思います。

喜多 孝 （瀬田月輪・園芸）

いつも喜びが多くなあれと願っている喜多です。長年トマト、納豆を含まない、Pureな食事制限と体力維持に務めています。在学中は体力を生かし高所の剪定、荷物運びに専念してきました。この点ではサポートの会でもお役に立つのではと思っています。よろしくお願いします。

堀 保夫 （瀬田一里山・園芸）

レイ大入学後、『森の風音』という環境ボランティアに初めて参加し、現在も継続中です。卒業した今後は、レイ大同窓会大津支部のボランティア活動にも参加していきたいと思っています。よろしくお願い致します。



＊比叡地域

入会された比叡地域の41、42期生を歓迎し、コロナ禍で開催を延期していた地域ミーティングを1年7か月ぶりに開催しました。今回は、5月17日（火）に、坂本周辺の名所旧跡を巡るハイキングと比叡山坂本駅前の中華料理店「登煌」での会食を組み合わせた催しとしています。当日、22名の方が参加され、41、42期生は8名が参加されました。幸いにも穏やかな曇り空で、健脚組17名が駅前に集合し、会員でもある大野光男さん（古都おおつ観光ボランティアガイドの会代表）のガイドで、比叡山坂本駅～石積みの郷公園～生源寺～日吉大社（大鳥居）～日吉東照宮～慈眼堂～滋賀院門跡～日吉茶園～登煌、約90分の散策でしたが、皆さんが完歩されました。大野さんのガイドには、「さすがにプロは違う！」との声が多く、満足して頂きました。

懇親会の会場「登煌」は、一般客と接触しないように、2階を独占し、食事も弁当様式で行いました。若手？には入会式で不十分だった自己紹介を個性豊かに語って頂き、古手？にも自己紹介と歓迎の挨拶を頂いて、あっという間の懇親会になりました。会食後に、記念写真を撮ることにしていたところ、肝心の支払い時に「特別弁当」で予算オーバーが分かり、急遽、不足分の会費を集めさせて頂きました。それにも拘わらず、笑顔で記念写真に納まって頂けたことに感謝しています。

残念ながら参加出来なかった方にも、次回の地域ミーティングに声掛けを続けて、コロナに負けずに「会員の親睦交流活動」を行って参ります。



＊中央地域

中央地域では美化活動として花壇・図書整理を平野小で（毎月第3水曜日）、校庭美化活動を逢坂小、長等小で（春秋2回）、ラッピング花鉢活動（入学式、卒業式）を長等、逢坂、中央、平野、膳所の各小学校で行う予定。

また、「楽しくやろう」をモットーに地域ミーティング・懇親会を年3回実施する。第1回目は新会員歓迎会を兼ね、去る4月22日新緑爽やかな三井寺で実施した。国宝の金堂や文化財収蔵庫を見学した後、食事会を行い懇親を深めた。新会員9名の内6名が参加、自己紹介にも力が入り人数では倍以上いる旧会員を圧倒していた。第2回は7月13日に、第3回は10月ごろを予定している。

他に地域活動に関する新会員の声に耳を傾け、新たな活動の可能性を探っていく。



三井寺山門前にて

地域だより

＊石山地域

○2022 年度 校庭美化活動

- ・青山小学校 5月9日（14名参加、うち42期新会員2名、在校生2名、一般の方1名）
- ・石山小学校 5月18日（14名参加、うち42期新会員2名、在校生2名）
- ・田上幼稚園 5月25日（13名参加、うち在校生2名）
- ・晴嵐小学校 6月1日（15名参加、うち在校生3名）
- ・南郷幼稚園 6月8日（13名参加、うち在校生2名）
- ・今後の予定
大石幼稚園 6月22日、南郷小学校 6月30日、
田上幼稚園 9月1日



青山小学校 校庭美化活動

○44 期生募集チラシ配布

6月11日、6月18日、7月9日、7月23日

○地域ミーティング（歓迎・親睦会）の予定

実施日：7月15日（金）10:30～

内 容：①「アクア琵琶」の見学と映画会（約1時間）
②南郷温泉「二葉屋」に徒歩移動
会食と親睦情報交換

会 費：2,500 円（税込み）



晴嵐小学校 校庭美化活動

＊瀬田地域

今年度の役員交代で荒堀副支部長から交代して、瀬田地域の活動に取り組むことになりました。昨年は新型コロナ感染拡大の影響で地域行事は開催できず、地域支援活動も何度か中止せざるを得ない状況でした。5月中旬から With コロナを意識して交流活動ができる範囲で開催することに取り組める時期になってきていることもあり、活動に参加する中で楽しみややりがいを見つけてもらえるようになればと考えています。また同窓会のイベントやクラブ活動に参加することで新たな機会が見つかることもあるのではないかと思います。

瀬田地域ミーティングを7月22日に計画していることと、地域支援活動を次のように計画していますので、それぞれが参加する中で楽しみを見つけてもらえるのではないかと思います。

2022 年度 地域活動の計画

1. 剪定活動 担当：隠岐 正
瀬田北小学校、瀬田東小学校、瀬田小学校、瀬田南小学校、
瀬田北幼稚園、瀬田幼稚園、建部大社
2. 校庭花作り 担当：松村康数 瀬田東小学校
3. 縫製授業応援 担当：荒堀勝正 瀬田東小学校
4. 図書管理 担当：長 幸雄 瀬田南小学校、瀬田北小学校
5. 44 期生学生募集活動
アル・プラザ瀬田店にて街頭チラシ配布活動（右写真）



僕は10才若く見えます！ — 荒堀 勝正さん —

今回は瀬田地域の荒堀 勝正さん（32期 健レ・瀬田）にお話をお聞きしました。

瀬田地域の先の副支部長として、卓越したリーダーシップは元より、理事・幹事及び、メンバーの世話活動に精通され、又、本部でも役員・執行委員として活躍されました。

小学校応援活動では推進責任者、レイカ大津の習字サークルでも責任者、瀬田公民館の花壇づくり・花づくり活動のサークル「一楽会」の運営委員長としてもご活躍です。

滋賀県立美術館のボランティアとして、他県の美術館との交流及び勉強会等を開催され、メンバーの知識の研鑽に努めておられます。

荒堀さんは、お話の中でよく、「僕は、一番何も出来ないです。人より遅れてやるというのが肌についている。大人になってやっと差がなくなった。実は僕、3月生まれなんです。早生まれの人は、総体的に人の話をよく聞いてから事をおこす人が多いと思う。だからボランティア活動を熱心に行っている人の中には早生まれの人が多いいね。又、僕は何をやっても人の2・3倍はかかるけれども、長く続けることに関しては、あまり苦痛ではない。何もできなくてもやめることなく続けていくのが私のやり方です」と。

荒堀さんは、もともと電機メーカーに勤務され、営業一筋やってこられました。政治、経済、文化、芸術、スポーツとあらゆる事を熟知されています。



インタビューに笑顔で

荒堀さんは昭和19年のお生まれ。「僕の勤めていた頃は、会社が大きな体制になっていなかったの、人を集めて、作って、失敗し、成功もして、あらゆることを経験して、自分の体に持っているというのが大きな特徴ですね」。大変な努力、精進、忍耐や経験を積んでこられたのだと思います。

サッカー歴8年、書道5年、天声人語の切り抜きにおいては、ノート65冊。荒堀さんは、穏やかで、私たちの話もよく聞いてくださいました。ありがとうございました。

（広報部会：宮下康子、稲田伸子）



初作



瀬田南小に、同行した記者との3ショット！

広報部会の活動紹介



広報部会長 中村健一郎

◆広報部の活動を説明します

広報部会のスローガンに「会員間の交流と情報交換・発信の広場」とあります様に、会員の皆さんにレイカ大津支部の情報を入手して書面と電子データで継続的な信頼関係を築くための思考・行動を発信しております。1つ目は年4回（6，9，12，3月）発行している支部会報誌「かけはし」です、そして2つ目はホームページでインターネットを通じて最新情報を皆さんへタイムリーに発信しております。

また最近では会員の皆さんへの情報提供以外に、関係団体へ我々の活動を発信しその知名度向上の大きなメディアとして、その存在価値が大きくなってきています。

◆「かけはし」について

「かけはし」の発行には誌面構成⇒原稿募集⇒誌面編集⇒誌面校正⇒最終チェック⇒印刷⇒配布の工程をへて約40日間で作成して、皆さんに配布しております。作成に際し会員の中から選ばれたコーディネータ1名（進行と調整）と編集主幹1名（誌面作成）が推進し、広報部員はネットで誌面校正を担当し、「誌面作成」と「最終チェック」時のみ対面会議を催して完成しています。毎号500部を印刷し配布数は会員290部、在校生120部、関係団体70部となっています。



下から50号記念号、従来の白黒版、カラー化1号、最新号の順

◆広報部員には作成の専門知識がいるのですか？

広報部では「かけはし」発行に伴う業務マニュアルを作成して制定していますので、少し精通する事で漏れ無く業務を推進出来る様にしています。確かに編集主幹は誌面を作成するに際してWordの知識とデザイン感覚が必要ですが、「誌面作成マニュアル」と既発行号を参考に誌面作成が出来ますので、皆さんの感性で誌面校正と最終確認対面会議に参画して頂き情報交換しながらお互いの絆を深めて頂ければと思います。それよりも広報部員の皆さんには、所属する地域の情報収集と記事投稿を推進しております、特に女性の目で見えた記事を毎号に掲載する様にしています。

◆大津支部のホームページについて

現在のホームページの体裁とコンテンツは4年前に作成されました。大津支部の活動指針を紹介し支部の行動を会員はじめ関係団体に知っていただけるように作成されています。「かけはし」のバックナンバーをカラー版で見られるように30号から必要号を呼び出し印刷することも可能ですのでご利用ください。

そして、日常的には「イベント情報」で日々の大津支部の活動内容を最新情報として知ることが出来ます。まだ見たことがない方は一度アクセスして頂けたらと思います。



大津支部ホームページの
フロントページ

◆ホームページ担当員に誰でもなれますか？

ホームページの更新、記事の掲載には別途専用のソフトが必要です。PCの操作にご興味のある方であれば誰でも使いこなせると考えます、ご希望の方はご指導いたしますのでご連絡ください。

会員動向

大津支部会員数 **288名**（6月10日現在）＜2021年度末257名＋入会50名－退会19名＞

『かけはし』への投稿について

会報誌「かけはし」は年4回発行しており、次号(78号)の発行は9月下旬です。

投稿の要領は下記の通りです。

- ・内容は支部全体の活動、各部会の活動報告、各地域の活動、および一般投稿などです。
- ・テーマは自由で、ボランティア活動、随想、紀行文、趣味のサークル活動などのほか、短歌、俳句、川柳などの投稿をお願いします。
- ・なお、誌面構成の関係上、自主的に投稿される方は事前に広報部会長にその旨をメールでお知らせ願います。
- ・原稿の文字数は 印刷 1 ページあたり 1,200 字以内(図表を含む)を厳守して下さい。
- ・原稿締め切りは8月31日(厳守)です。

《原稿送付先》 自筆・ワープロ印刷原稿は郵送で

中村健一郎宛 〒520-2152 大津市月輪4丁目11-5

メール添付は 中村健一郎宛 knakamura4097@gmail.com

編集後記

コロナ禍もすこし落ち着いてきたようですし、過去2年ほど中止・延期の憂き目をみた諸行事もようやく再開の機運が高まってきました。なにより 50 名の新会員を迎え、大津支部はますます賑やかになりそうです。

「かけはし 77 号」は、新たな編集スタッフで完成しました。入会式・アンケート・新会員の抱負などに重きを置いたため、従来とはすこし編集内容が異なり、一般投稿は次号にさせていただきました。新しい編集委員の写真を掲載いたします。どうか皆様の強力な応援をお願いします次第です。

編集委員

岩田和彦・藤田順一（志賀）福井かおる（唐崎）大塚庸行（打出）釜淵佳明（膳所）
大平恭文・小篠伸二（晴嵐）脇田 進・遠藤修一・河野安明（南郷）
稲田伸子・中村 登（瀬田）宮下康子（瀬田北）中村健一郎（瀬田月輪）



レイカディア大学同窓会 大津支部会報「かけはし」77号

発行責任者 大津支部長 藤田 順一

編集責任者 広報部会長 中村健一郎

2022(令和4)年6月27日発行

*投稿・応募・申込み等の個人情報について

レイカディア大学同窓会大津支部宛の投稿・応募・申込み等(電子媒体含む。以下原稿と言う)で得た個人情報は事前説明無く、当該投稿等に関する用途以外に使用せず、適宜、適切に破棄します。投稿内容及び氏名、年齢、生年、域・地区、卒期・学科名は当会発行媒体に掲載することがあります。

